

(HP公開様式)

政務活動費の調査研究に係る海外調査、宿泊を伴う県外調査の概要

1 題目：自由民主党 政務調査

2 調査報告概要

調査者 会派名等	[会派名、調査者全員の氏名] 会派名 自由民主党 調査者 白壁賢一、杉山肇
調査内容	<p>1 調査目的</p> <p>本県における行政課題である観光振興、防災・減災、産業振興について、それぞれ先進的な取り組みを行っている地方自治体や団体などが実施する各事業について、視察、調査、意見交換を行い、本県の施策に活かしていく。</p> <p>2 調査テーマ</p> <p>観光振興 防災・減災 産業振興</p> <p>3 調査期間</p> <p>令和6年3月25日～令和6年3月27日 (2泊3日)</p> <p>4 調査地 [海外→国名・都市名]・[国内→都道府県名・市町村名]</p> <p>北海道 網走市・洞爺湖町・千歳市</p> <p>5 その他</p>

### 3 調査テーマ毎の調査項目と選定理由

<p>[調査テーマ] 観光振興</p>	<p>[調査項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化による流氷の減少と観光への影響について</li> <li>・文化財及び地域資源を活用した観光振興について</li> </ul> <p>[選定理由]</p> <p>山梨県には各地域に様々な観光資源があふれているが、その魅力を十分に生かし切れていない。地域がもつ独自の歴史や文化、風景などを観光資源として磨き上げ、高い付加価値を生み出して他の地域との差別化を図っていく必要がある。また、自然や史跡などの資源については適切な保全を図り、持続可能な観光を推進する必要があることから、このテーマを選定した。</p>
<p>[調査テーマ] 防災・減災</p>	<p>[調査項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有珠山噴火の減災対策について</li> </ul> <p>[選定理由]</p> <p>富士山の噴火はいつ起こっても不思議はないと言われる中で、住民、観光客・登山者の安全を確保するための防災対策を強力に推進する必要があることからこのテーマを選定した。</p>
<p>[調査テーマ] 産業振興</p>	<p>[調査項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代半導体戦略の取り組みについて</li> </ul> <p>[選定理由]</p> <p>本県産業の高付加価値化を推進するため、本県と親和性が高い産業の集積を図る必要がある。新産業・成長産業の創出や関連企業の立地を推進する先進事例として選定した。</p>

#### 4 調査項目に係る調査都市・施設・担当者等の選定

調査項目	都市（市町村）名・施設名・担当者名及び選定理由
<p>・地球温暖化による流氷の減少と観光への影響について</p> <p>・文化財及び地域資源を活用した観光振興について</p>	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 北海道網走市 オホーツク流氷館、博物館 網走監獄</p> <p>[選定理由] 網走市のオホーツク流氷館は、オフシーズンであっても流氷などが体感できるコンテンツなどを用意し、来訪者が期待できるような取り組みをしていることから選定した。 また、冬の北海道観光の目玉の一つでもある流氷は、地球温暖化の影響で減少傾向にあることから、観光資源である流氷を保護するための環境啓発活動を行っていることも選定理由である。 博物館網走監獄は、重要文化財等に指定された施設見学だけでなく、来館者に付加価値をつけて見学できるような施設として運営されていることから選定した。</p>
<p>有珠山噴火の減災対策について</p>	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 北海道虻田郡洞爺湖町 洞爺湖有珠山ジオパーク</p> <p>[選定理由] 火山地域の自然や特性に関する知識、噴火の記憶・経験、災害を軽減する知恵などを次世代や地域内外の人々に伝承していく「洞爺湖有珠火山マイスター」制度を構築している。 火山と共生をテーマに火山の特性を理解し、災害を軽減する取り組みを行う先進事例として選定した。</p>
<p>次世代半導体戦略の取り組みについて</p>	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 北海道札幌市 北海道庁 次世代半導体戦略室</p> <p>[選定理由] 北海道庁では、次世代半導体産業のラピダス社の千歳市への立地が決定し、立地に伴い、半導体関連産業の集積の動きが出ている。道では、製造、研究、人材育成等が一体となっ</p>

	た複合拠点を整備し、その効果を波及させ、全体の価値を押し上げるビジョンを作成し、実現に向け取り組んでいる。企業立地に取り組む先進事例として選定した。
--	--

5 調査内容

○調査テーマ：( 観光振興 )

調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化による流氷の減少と観光への影響について</li> <li>・文化財及び地域資源を活用した観光振興について</li> </ul>		
調査都市等	北海道網走市天都山244-3 オホーツク流氷館 北海道網走市字呼人1-1 博物館 網走監獄	調査日	3月25日
調査結果概要	<p><b>【オホーツク流氷館】</b></p> <p>オホーツク流氷館は網走市が設置し、指定管理者（株）網走観光振興公社）により管理・運営されており、定期的な施設の更新や物販の充実などにより、顧客満足度を向上させる取り組みを進めている。</p> <p>かつては流氷が押し寄せると沖に船が出せず基幹産業が停滞することから、流氷はマイナスのものであったが、発想の転換により観光資源として活用することで、その価値はプラスのものに転換されていった。</p> <p>また、オフシーズンであった冬季以外でも流氷の魅力を発信することができるようになり、オホーツク流氷館は、地域の観光振興に大いに寄与している。</p> <p>近年、外国人旅行者の来訪が増加しているが、目当ては眼下に見る流氷である。地球温暖化により流氷の量や接岸の頻度が減少しており、観光への影響が懸念されている。</p> <p>流氷館では、環境の変化をデータで示して展示するなど、流氷で地球環境を考える場としての役割も担っている。流氷を見ながらSDGsを体感できる場とすることにより、来館者へ新たな価値が付加された。</p> <p>本県の豊かな自然環境を守るために、持続可能な観光施策を考え、環境保全に努めていく必要がある。観光地での体験学習などの教育プログラムの開発や、観光客の移動手段や宿泊施設の運営等あらゆる側面での環境配慮などに取り組んでいかなければならない。</p> <p>地球温暖化による観光への影響を、地球温暖化を考える場とすることで新たな価値を付加するなど、マイナスをプラスに転換する発想などは、本県でも参考となるものと考え。</p>		

	<p><b>【博物館 網走監獄】</b></p> <p>網走監獄は、明治時代から使用された網走刑務所の建物を保存して公開している歴史博物館である。現在の場所に移築後は国や市町村の補助金に頼らず独立採算で運営しているが、収益を確保しながら、新たな施設を建設するなど、さらなる魅力的な要素を付加し、他の追随を許さない観光施設となっている。</p> <p>展示施設の一部には重要文化財に指定されているものもあり、その歴史的価値を認識して保存していること、また、監獄の歴史を体感できるシアターや監獄食を味わえるレストラン、囚人たちの生活や北海道開拓の歴史にも触れ、郷土の歴史を学べる場の提供など、様々な取り組みが進められ、その価値を高めている。</p> <p>地域資源である網走監獄を地域の人々が愛着と誇りを持ち、守りながら次の世代に引き継いで観光資源として活用し、それが観光振興、地域活性化につながるのであれば、非常に好循環である。地域の歴史・文化財の価値は不変で観光資源として持続的なものであり、県内各地の神社仏閣や歴史などの観光資源の活用の参考となるものである。</p> <p>本県にも地域資源として富士山や八ヶ岳などがあるが、これらを保全しながら後世に残し、観光につなげていくことを考えていかなければならない。まずは地域住民が歴史や価値を認識し、愛着を持ち、誇りに思うことが肝要である。</p>
--	---

○調査テーマ：（ 防災・減災 ）

調査項目	有珠山噴火の減災対策について		
調査都市等	北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉 1 4 2 洞爺湖有珠山ジオパーク	調査日	3月26日
調査結果概要	<p>洞爺湖有珠山ジオパークは、2009年に日本で最初の世界ジオパークとして認定され、2015年にはユネスコ世界ジオパークとして認定された。火山活動との共生をテーマに、減災教育と学びを推進している。</p> <p>また、火山マイスター制度や教育旅行、災害遺構の保全などの活動により、地域住民や訪れる人々に対して火山との共生の知恵を伝え、自然災害との共生を人々共有の課題として捉えることに貢献している。</p> <p>火山マイスター制度は、地域の人々が火山の特性を理解し、噴火の記憶・経験、災害リスクを軽減する知恵などを伝承する人を「火山マイスター」として認定するもので、周期的な噴火を繰り返す有珠山ならではの活動である。自然災害、噴火の恐ろしさを国内外の人たちや特に子ども</p>		

	<p>もたちには必ず伝え、将来的にすべての住民が学ぶ経験を持つようにしているという。マイスターの活動により、地域の減災力の向上だけでなく、現場見学を訪れる観光客に対する地域の魅力発信も図られている。</p> <p>本県では、富士山噴火の被害想定区域などを示したハザードマップに加え、避難基本計画が策定され、周知が進められている。避難計画のさらなる充実、地域の人々や観光客とどのように取り組んでいくのか、有珠山などの先進事例を参考に、富士山噴火への対策を早急に進めなければならない。</p>
--	--

○調査テーマ：( 産業振興 )

調査項目	次世代半導体戦略の取り組みについて		
調査都市等	北海道札幌市中央区北3条西6丁目	調査日	3月27日
調査結果概要	<p>次世代半導体戦略室長から、これまでの経緯、北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン実現に向けた戦略的な取り組みに関する説明を受け、改めて地域経済への大きな波及効果をもたらす大規模なプロジェクトであることを認識した。ビジョンでは、半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点を目指し、地域経済の活性化と産業振興が期待されている。また、半導体関連産業の集積、イノベーションの創出、人材の安定供給、地域経済の活性化の4つの方針のもと、施策を戦略的に進めている。</p> <p>専門的な知識を持つ人材が必要であるため、地元の教育機関と連携して人材育成を進めているが、ある程度の時間と継続性が必要であることから、不足する人材をどのように確保していくのか、また、道央圏への集中をどのように全道にバランスよく広げるのかが課題となってくる。</p> <p>北海道の次世代半導体工場の立地は国が進める国家プロジェクトであるが、米倉山を水素関連産業の世界的イノベーション拠点とすることを目指して取り組みを進めている本県にとって、規模感は異なるものの非常に参考になるものである。本県は、中部横断自動車道全線開通や今後開業予定のリニア中央新幹線などによる東京圏、名古屋圏からの交通アクセスの向上や、子育てしやすい住環境、自然環境などのPRに加え、手厚い支援制度として助成金、相談体制、人材育成などをPRし、企業を呼び込もうとしている。企業のニーズを把握し、スピード感をもった支援などのPRが肝要である。</p>		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
白壁 賢一	<p><b>・観光振興</b></p> <p><b>【オホーツク流氷館】</b></p> <p>地球温暖化による流氷の減少と観光への影響について様々な方向性から、第3セクターの職員の方から説明を受けた。</p> <p>近年は温暖化とオホーツクの海流の変化、アムール川からの真水の流れの変化等により流氷が見られない時もあるようである。その昔は流氷が押し寄せるとニシン漁にも行けず地域経済は厳しい冬となっていたようであるが、マイナスをプラスに変える発想で流氷を観光資源にして客を呼び込み、観光地へと変貌を遂げていた。</p> <p>北海道はニセコに見るように近年外国の観光客も多く、この流氷館も例外ではない。我々が伺った時も東南アジアからの観光客がバスで来られていた。やはり目当ては流氷館から眼下に見る流氷であるが、その流氷がなくなる、となるとこれも問題である。説明者によると、施設の更新を5年に1回計画的に行い、CSを図り、物販にも力を入れ、収益確保に努めているとのことである。</p> <p>流氷館には子供たちも多く来館している。その際、流氷の説明と同時に地球温暖化防止の啓発と自然環境を守る勉強を行っているとのことである。</p> <p><b>【博物館 網走監獄】</b></p> <p>文化財及び地域資源を活用した観光振興について、博物館の職員の方から説明を受けた。</p> <p>私にとっては二十数年ぶりの網走監獄見学であった。過去の見学では案内員の方からの説明はなく、ただ闇雲に見て回るだけであったため、地域の方々のこの施設に対する思いまではわからなかったが、今回の見学でよく理解ができた。</p> <p>旧網走監獄移転に伴い、解体するのを惜しんだ地元有志が土地を提供して現在の場所に移築、その後は国や市町村の補助は一切受けず、独立採算でこの監獄を地域資源、また観光資源として守っている。現在ではその一部が文化財に指定されて、観光客の来館に拍車がかかる。</p> <p>説明員の女性は網走生まれ網走育ちといい、地域住民は先人の遺志を受け継ぎ、この地域資源網走監獄を後世に残すべく努力すると言い切った。地域に愛着と誇りを持ち、次の世代に受け継ぐことは素晴らしいことであり、それが観光資源となり観光の活性化につながれば一</p>

石二鳥である。

我々の地域にも自然の地域資源として富士山や八ヶ岳等があるが、これらを破壊せず後世に残し観光につなげることを考える県民がどれだけいるだろう。

観光の原点は、破壊して売り出すだけでなく、地域住民がそれを愛し、誇りに思い、大切に後世に残すことに尽きる。ちなみに、北海道で認知度の高い施設は、上位が時計台であり、地域の方々が愛する地域資源としてあげられる。

独立採算ではあるが、しっかり収益を上げ新たな施設が建設されている。補助金や交付金に頼らずに行うことで差別化された他の追随を許さない観光施設となっている。

#### ・防災・減災

有珠山噴火の減災対策についてセンターの方から説明やビデオでの研修を受けた。

有珠山噴火はほぼ予測が立ち、避難や対策が行える火山である。これは噴火周期がほぼ定期的に来ることや噴火に至るプロセス、また噴火口の位置がある程度特定できるためである。

また、過去数回の噴火データが残り、都度、導流溝やスリット型ダム、堰堤を整備したことで安全を確保できる可能性を高めている。過去、何回かの遺構を現在に残し、それをマイスターと称する解説委員が観光客や子供たちの現場見学で説明して自然災害の恐ろしさを解き、またこれらが観光資源ともなっている。

逼迫性が指摘される富士山噴火、ある程度盛り込んだというハザードマップ、これで安心が担保できるかということ NO である。想定されることはすべて織り込み、完璧なる避難マニュアルこそが安心できるハザードマップとなる。またそれに呼応するように早期の防災施設整備が必要である。

富士山対策開始からかれこれ5年が経つが、富士山北麓の遊砂地並びにスリットダムまた導流溝は遅々として進んでいない。有珠山をはじめとする先進事例が全国には数多くある。それらをヒントに古文書等を照らし合わせ、早期完成を望む。

#### ・産業振興

##### 【北海道庁 次世代半導体戦略室】【次世代半導体工場】

次世代半導体戦略の取り組みについて、戦略室長から次世代半導体について、またラビダス社について、更にはこれまでの経緯と北海道



	<p>の取り組み並びにビジョンについて、詳細に説明を受けた。</p> <p>北海道庁に伺う前日、車窓から現場を確認したが、固定クレーンが十数基立ち並び、大規模な建屋を突貫工事で行っている様子が手に取るようにわかった。</p> <p>室長の詳細な説明の中で、65万ヘクタールの広大な土地、8社が出資した半導体企業、それから半導体は洗浄に多量の水を使うがそれは確保できた、国の委託費が約7兆円、それもめどがついた、25年にはビヨンド2ナノメートルを成功させる、北海道としても道単で事業を行う等々であった。</p> <p>しかしここまではよかったが、最後の言葉にエルピーダメモリーの失敗の轍を踏まないか、半導体に関連する装置企業や材料企業が隣接地への工場建設に二の足を踏んでいるとのことである。早く国の予算投下ができればいいのだが、といったところであった。ラピダスは国策事業である。TSMCは台湾企業への誘致補助金であったが、ラピダスは国の委託費である。何をのろのろしているのか、もしここで半導体事業が失敗したら、日本国は国力において世界でも下の下に成り下がるものであり、失敗は許されない。</p>
杉山 肇	<p>・ <b>観光振興</b></p> <p>【オホーツク流氷館】</p> <p>オホーツク流氷館の開設により、冬季以外での流氷の魅力を発信することができるようになり、観光振興に大きく役立っている。特に近年は東南アジアや台湾などからのインバウンドが多くなっている。また、流氷館では単に魅力だけの発信に留まらず、実際に流氷の量や接岸する頻度が減少傾向にあることもデータで知ってもらえるよう展示し、地球温暖化を学習する場としても役割を果たしている。このような取り組みが、環境先進地としてのイメージアップにもつながっていると思う。</p> <p>【博物館 網走監獄】</p> <p>日本で唯一の刑務所をテーマとした博物館として、歴史ある建造物を保護、展示し、地域の観光資源としてその役割を大いに果たしている。さらには、北海道開拓の歴史にも触れ、郷土の歴史を学習する場所ともなっている。一時的なブームに乗る観光などとは異なる、その地域の歴史、文化財の価値は不変であり、観光資源として永遠に続くものだと確信した。</p>

### ・防災・減災

周期的な噴火や、噴火の前兆活動が顕著であるなど、様々な環境にある有珠山ならではの活動だと感じた。

洞爺湖有珠マイスター制度を活用し、国内外の人たちに噴火の怖さ、防災、減災対策とともに地域の自然環境のすばらしさを伝えている。特に子供たちには必ず伝え、将来的にすべての住民が学ぶ経験を持つようにしている。

噴火では、特に噴火泥流の怖さを感じた。富士山噴火に対する取り組み、特に地域住民や観光客に対してどのように取り組んでいくのか、大いに参考になった。

### ・産業振興

#### 【次世代半導体工場】

新千歳空港の隣接地に大きなクレーンがいくつも立ち並び、まさに新工場建設が本格的に行われていることを実感した。周囲にはさらに広大な土地が広がっており、将来的に多くの企業が集積することが視野にあることも感じた。同時に道路やベッドタウンなどのインフラ整備も重要であり、行政の役割も大きいと思う。

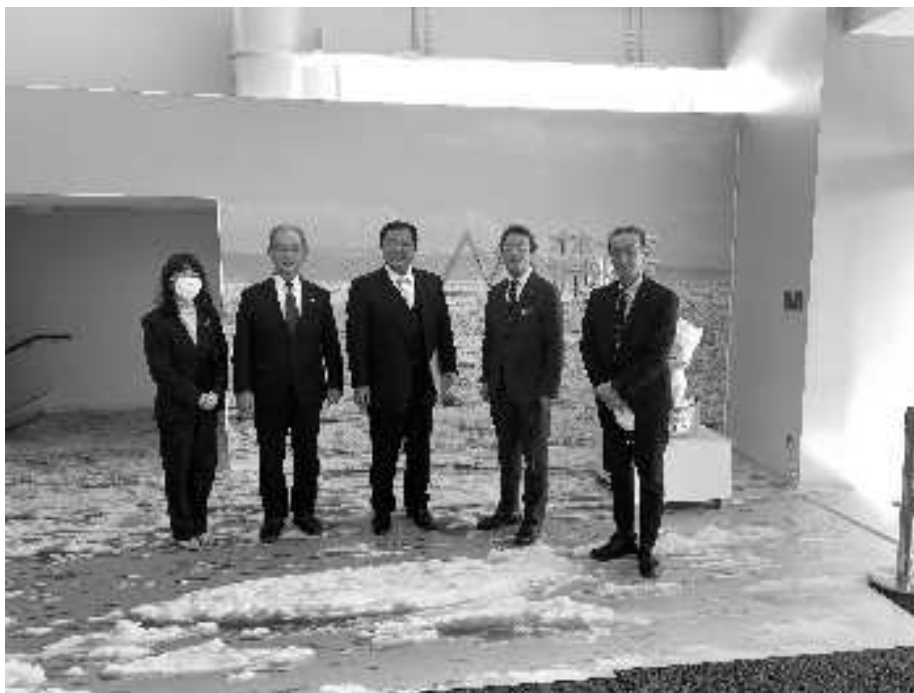
#### 【北海道庁 次世代半導体戦略室】

ラピダス社の立地に伴い、すでに千歳市には100社からの問合せが来ているという。経済効果も莫大で、第2工場が量産化する2030年には20兆円弱になるというシナリオがある。

しかしながら、人材育成をどのように進めるのか、また、道央圏への集中をどのように全道にバランスよく広めるのかが大きな課題になる。

6 調査状況（写真）

○R6年3月25日 調査先 （オホーツク流氷館）



○R6年3月25日 調査先 （博物館 網走監獄）





○R6年3月26日 調査先（洞爺湖有珠山ジオパーク）





○ R6年3月26日 調査先（次世代半導体工場 ラピスタ工場建設現場）



○R6年 3月27日 調査先（北海道庁）

